



38歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第163号 2013年 新春号
新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)
電話 048-483-2777
FAX 048-483-2780
ホームページ <http://www.yoshiday.com>
メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(38才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー資格、アナリスト・経済・資格等も取得。
- 2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。2007年4月、トップにて再選。
- 2011年4月、無投票にて三期目当選。現在、無所属、民主党を中心とする第二会派の副代表をつとめる。財政規律をしっかりと堅持し、今後のあるべき社会保障制度、教育制度について議論を展開している。
- 趣味は、水泳、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずしていつできる」



2013年がスタート、任期折り返しの年！

2013年がスタートいたしました。本年は、私にとっても県議会三期目の節目となる年です。引き続き、皆様から頂いたご意見をもとに、新座市、埼玉県発展のための努力をして参ります。今後とも、お気軽にご意見をお寄せ下さい。

2012年は日本をはじめとして、多くの国で指導者や政権が変わりました。戦後の歴史上、これほど多くの指導者や政権が変わった年はありません。

とりわけ年末の衆議院総選挙は埼玉県だけでも、約28億円の費用がかかって行われた選挙です。それだけの費用をかけながら、政治を変えろという時代です。まさに、いま、激動の時代に居るということをし、しっかりと認識しながら、皆様の声を真摯に受け止め、政治活動を続けてゆく覚悟です。

さて、12月定例議会では62本もの条例等の議案が審議されました。特徴的なものは、国が「地方に出来ることは地方に」という方針のもと行った、地域主権改革に伴い、条例を制定することとなったものです。

例えば県道の整備や、特別養護老人ホームや保育所の設置等は、今までは国の法律(政令など)で一律に決まっていた。それが地方主権改革により、各都道府県ごとにその基準を、条例で定めることとなったものです。

今回の定例議会では、今までの国の基準に比べて緩和されたものや、もしくは、県独自の基準を新たに作ったもの等について、多くの議論がなされました。

例えば待機児童の多い地域では、保育所の子供一人当たりの床面積基準が緩和されるなど、整備のし易さにとってはメリットがあるものの、子供の安全という面からは疑問が出される等、両面からの議論がなされました。

これらはもちろん、地域によってそれぞれ事情が異なるため、今後はその地域によってしっかりと議論されなくてはならない課題です。

今後、都道府県や市ごとに、特色のある道路や公共施設が出来る時代となりそうです。地域の实情に合ったものができる反面、安全面などの監視もしっかりとしなければならない時代になります。

埼玉県の医師は不足しているのか？

～埼玉県の医師不足問題に迫る！第二弾～

埼玉県の医師数は、人口当たりで見ると全国最低と言う水準です。が、本当に医師が不足しているのかという問題を、前回に引き続き検証してみたいと思います。

いま、多くの患者の中心は高齢者の方と言われていています。しかし、ここに「医師が足りない」といわれるもう一つの問題があるとされています。

一昔前では一人の高齢者の方を一人の医師で対応していました。しかし、医療が高度化された今はどうでしょう。一人の高齢者を5-6人の医師で対応しているとも言われています。がんで、リュウマチで、白内障を患っている等と言う方でも、元気で活躍されている方も大勢いらっしゃいます。

そして、こういった疾患を抱えられた方々は、地域の病院を回るとなると一週間以上かかってしまうなど、負担が大変なため、結局は大病院に行くこととなります。また、地域医療機関が安易に大病院へ紹介してしまうケースも散見されます。

こういったことから、地域の開業医は比較的すいていても、大病院の専門医が大混雑するという悪循環に陥ってしまうのです。

日本は医療機関に対しては常にフリーアクセスのため、1人当たりの受診回数という統計でみると、現在、世界一という結果です。国民皆保険制度の中、使いやすい医療システムが、かえって一部の医療機関に集中してしまうという問題が起こってしまい、皮肉な状況になっています。

現在、埼玉県議会でも医師不足の諸問題に対応するため、議員連盟を作るなど、様々な解決策を探っています。単に医師を増やせば良いということではなく、制度や仕組みを変えなければならぬ課題が多く存在しています。(第三弾に続きます)

県政世論調査の結果がまとまりました!

平成24年度の県政世論調査の結果がまとまりました。

この調査は、昭和43年度から毎年行っているもので、今年度は、「震

災前後における省エネ」他などの4つのテーマと、毎回行っている時系列項目である「県政への要望」について調査を行いました。

結果、今年も堂々一位は高齢者福祉の充実でした。二位は医療体制の整備、三位は自然を守るです。子育て支援などはなかなか上位に入らず、意見をしっかりと表明することが、政治を動かす第一歩かもしれません。

映画「のぼうの城」の経済効果とは・・・

行田市の忍城を舞台に全国で大ヒットしている 映画「のぼうの城」の県内への経済効果が約38億円と「ぶぎん地域経済研究所」が試算結果を発表しました。映画館での飲食や、観光客の消費などから試算されたようです。

この映画は、たった500人の守備兵で天下の大軍を翻弄するという話で、埼玉県民にとっては痛快な話です。また、舞台となった行田市は、日本国家の成立についての記録がある金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)が発見された稲荷山古墳、円墳としては日本で一番大きい丸墓山古墳といった9基の埼玉古墳群等があり、日帰り観光にもちょうど良い所です。

「のぼうの城」の経済効果38億円という話を聞いて、あらためて「たかが映画、されど映画」と思ったところでした。

県政報告配布ボランティア大募集!

事務所では、定期的に「吉田よしのり県政報告」を発行しています。毎月一回、ひばりヶ丘駅、志木駅、新座駅、朝霞台駅等で配布していますが、それ以外にも市内の全地域を対象に戸別配布も行っています。「お金をかけない政治」を目指す上でも、この配布作業をボランティアして下さる方を大募集しています!ご近所・100世帯程度でも構いません!ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、是非!事務所にご連絡ください!

吉田よしのりの一行日記!

- 10/1-4 県議会本会議、県政に対する質疑他
- 10/5 支持者打ち合わせ、県議会議案調査他
- 10/6-7 日本政治学会・全国大会(九州大学)
- 10/9-12 県議会・各常任委員会、特別委員会
- 10/13-14 商工会青年部フェスタ、さんま祭り
- 10/15 県議会本会議、討論、採決、閉会
- 10/16-18 駅前清掃手伝い、市内地域訪問他
- 10/19-20 自治体問題研究集会
- 10/21 健康まつり、俳句の会、ふれあいびっく
- 10/22-23 志木駅頭、県内要望受付ほか
- 10/24 ひばりヶ丘駅頭、県議会会議打合せ
- 10/25 新座駅頭、都内にて打ち合わせ会議等
- 10/26 東久留米駅頭、市内地域訪問ほか
- 10/27 障害学会研究集会
- 10/28 商工会青年部、民謡の会、お茶会
- 10/29 朝霞台駅頭、大学生との懇親会
- 10/30 県議会・会派県内視察・行田市
- 10/31-11/1 清瀬駅頭、ふるさと新座館・式典
- 11/4-6 県議会調整会議、後援者還暦の会
- 11/7-9 市内地域訪問、打ち合わせ等
- 11/10 日本地方政治学会・研修大会
- 11/11 農業まつり、すきっぷたうん商店会
- 11/12 県議会会派調整会議、さいたま市内
- 11/13 新座団地朝キャン、市内地域訪問
- 11/14-15 後援会合同・懇親旅行会
- 11/16 消防連合点検、議会あり方検討会
- 11/17 新座総合技術高校30周年記念式典
- 11/18-19 事務所来客対応、打ち合わせ会議
- 11/20 駅前清掃、防犯協会定期大会ほか
- 11/21-22 県議会・県土都市整備委員会
- 11/24-25 社会文化学会定期大会・研修会
- 11/26-27 県議会会派調整会議、国政報告他
- 11/29 交通安全式出発式、農業祭り反省会
- 11/30-12/1 自衛隊体育学校視察ほか
- 12/2 市内団体清掃活動、空手道連盟打合せ
- 12/3-7 県議会開会・本会議・一般質問他
- 12/8-9 衆議院議員選挙応援
- 12/10-13 県議会本会議・一般質問ほか
- 12/14-16 衆議院議員選挙応援
- 12/17-18 県議会県土都市整備常任委員会
- 12/19-20 県議会行財政改革特別委員会
- 12/21 県議会・本会議、採決等、閉会
- 12/22-24 市内地域訪問、商工会青年部事業